

ジオ・文化遺産の獲得

阿蘇地方の地質学的、考古学的、生態学的、文化的価値についての詳細な科学的観察の結果、阿蘇は 2014 年にジオパークの地位を付与されました。

東西 18km、南北 25km の阿蘇カルデラは、総面積 380km²あります。このカルデラは、およそ 27 万年前に始まった大規模な火山活動によってできました。カルデラの中心には、中岳を含む 5 つの山があります。中岳は古来より繰り返し噴火しており、現在も火山ガスを放出し続けています。阿蘇の火山活動の歴史を象徴するものであり、地形、地質、文化の特徴を形作っています。

阿蘇ジオパークは、カルデラの内側、外側の斜面、カルデラの外側の縁で構成されています。ジオパーク内に、火山岩層や断層線が見られ、このような天然資源が地元の文化に影響を及ぼしてきました。霜神社や国造神社、阿蘇神社などといった神社や史跡が残っているため、国際的に重要な場所となっています。これらの神社は、火山と日常生活のそれぞれへ関係しています。ここでは、山々がどのようにして時とともにこの地域の人々の文化を形作ってきたかを見ることができます。